

# 日本語のこういうところが難しい

日外協の日本語スピーチ・コンテスト優秀者招へい事業で日本に来たことがある若者たちに聞いてみた。

ベトナム

## 聞き取れない言葉がたくさん

ダナン外国語大学・学生 グエン・ティ・テウイー・リンさん



今、ダナン外務局でインターンシップをしています。日本の政府機関・団体・企業とダナン市との交流をお手伝いしています。日本語は難しいと感じることを4つ挙げます。

①**聞くこと** 一番難しいです。長く話をされると、理解するのがちょっと大変だなと思います。分からない言葉や聞き取れない言葉がたくさんあります。話し方がとても早い人もいます。特にビジネス日本語は早いですね。

②**文化の違い** そのまま通訳すると相手の日本人に分かってもらえないこともあります。

例えば、「子どもは白い紙のようだ」(Trẻ em như tờ giấy trắng)。意味分かりますか？ 子どもは素直で大人のまねをし影響を受けるという意味です。話の中身をよく理解して分かりやすく伝えようと心がけています。

「はい」と「うん」の使い方が違います。ベトナムでは目上の人と話すときは家族でも「はい」と返事します。日本のように、お母さんに「うん」と言ったら失礼になります。

③**数字** ベトナムでは3ケタで区切って「.」で分けます。でも、日本では「万」が多く使われます。例えば、日本は10万ですが、ベトナムは100.000。資本金とか総投資額などの数字を聞くのは、汗をかくほど怖いです。

④**文法** 書くときには文法が正しくないと困りますね。例えば、正式なMOU(覚書)とか、会議記録、案内状とかです。

日本人にはなるべく難しい日本語を使わないようにしてほしいですが、難しくても新しい言葉を覚えれば自分のものになるとあって、一生懸命勉強します。(2018年来日)



インドネシア

## 初めて聞く専門用語が出てくると

インドネシア 日系企業勤務

アルベルトさん



たまに出てくる難しい言葉、特に**初めて聞く専門用語**が出てくると、一度話を止めて、相手に「すみません、それはどういう意味でしょうか?」と聞かなければなりません。仕事なので、相手に迷惑をかけてしまって申し訳ない思いになります。(2017年来日、写真右端)



ラオス

## 話すスピードが 早くて分からない

国立ラオス大学・学生

ラッタソン・ポンマボンさん



### 文法、特に「使役形」と「使役受身形」

はよく勘違いします。例えば、「読む」は使役形だと「読ませる」、使役受身形だと「読ませられる」？「読まされる」？

日本人でも難しいようですが、なるべくゆっくり話してもらえるとありがたいですね。

(2017 年来日)



ミャンマー

## 発音が同じでも 使い方が異なる

ヤンゴン外国語大学・学生

ヌウェ・ウー・カイさん



1つは**漢字**です。勉強してもなかなか覚えられません。もう1つは、**言葉の使い分け**。日本語には意味が似ている言葉がたくさんあります。例えば、「から」と「ので」。2つとも原因、理由を表す接続詞ですが、「から」は話し手の主観が反映されやすく、「ので」はていねいさやある程度の客観性を含む表現なのだと言いました。他にも「によって」と「に応じて」、「制作」と「製作」など意味が似てたり、発音が同じでも状況によって使い方が異なる言葉がたくさんあります。

難しいこともたくさんありますが、一生懸命努力して日本語の勉強を続けています。(2018 年来日)



カンボジア

## 口をあまり開けない日本人

日本語学校 教師 トップ・ワンナーさん



難しいと感じているのは、次の5つです。

1つめは**漢字**です。2千以上もある上、訓読みと音読みでは全く違うので覚えにくいです。また、書くのも、ひらがなやカタカナよりずっと難しいです。

2つめは**文法**。意味がよく似ていたり、同じだったり、どうしたらいいのか分からないことがあります。

3つめは**読解**。日本語能力試験を何度受験しても、読解の点数だけは低いまです。

4つめは**敬語**。先生方や目上の人と会話をすると、尊敬語と謙譲語の使い方を間違えることがけっこうあります。

5つめは**早く話をしたり、口をあまり開けないで話をする日本人と会話する時**です。特にお年寄りやと話をしていると感じます。

できればゆっくり話してほしい。そして、難しい言葉を使わないようにしてほしいです。(2018 年来日、写真は王立プノンペン大学卒業式で)

